

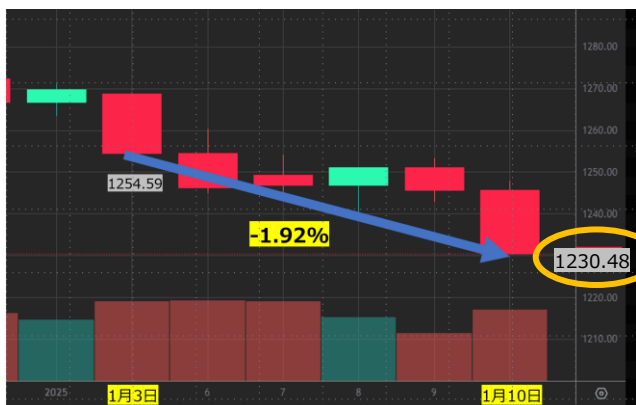
※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2025年1月14日

# CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数 : 1/3-1/10)



	週間	月間	YTD
<b>VN指数</b>	<b>-1.92%</b>	<b>-2.87%</b>	<b>-2.87%</b>
<b>VN30指数</b>	<b>-2.07%</b>	<b>-3.83%</b>	<b>-3.83%</b>
<b>VN中型株指数</b>	<b>-3.16%</b>	<b>-4.63%</b>	<b>-4.63%</b>
<b>VN小型株指数</b>	<b>-3.33%</b>	<b>-4.11%</b>	<b>-4.11%</b>

先週のVN指数は1254.59ポイントから1230.48ポイントへと1.92%の続落となりました。週半ばには押し目買いが入り、持ち直す場面もございました。しかし、米長期金利が上昇する中、通貨ベトナムドンの先行き不安や、今月20日に就任するトランプ次期米大統領による政策の不透明感などを背景に下落基調となりました。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が-2.07%、中型株指数が-3.16%、小型株指数が-3.33%とそれぞれ続落しました。

	週間	月間	YTD
<b>為替レート (円対円レート)</b>	<b>0.37%</b>	<b>0.37%</b>	<b>0.37%</b>

通貨ベトナムドンにつきましては米ドルに対して横ばい圏で推移いたしました。ドル円相場は、米国の底堅い景気やトランプ次期大統領による関税引き上げ観測などからインフレ再燃が懸念されて米長期金利が上昇し、円売り・ドル買いを促しました。一方、日本の通貨当局による円安けん制発言や日銀による追加利上げ観測を背景に円買い・ドル売りも入り、横ばい圏での推移となりました。ベトナムドンは円に対して+0.37%と小幅な反発となりました。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	-2.2%	素材	-4.3%
不動産	-1.7%	公益事業	-1.0%
生活必需品	-3.6%	エネルギー	-4.4%
一般消費財	-2.5%	情報技術	-1.5%
資本財	-2.8%	ヘルスケア	0.3%

セクター別に見ますと、ヘルスケアが+0.3%と小幅ながら続伸いたしましたが、9セクターが下落いたしました。特に右真ん中のエネルギーが-4.4%、右上の素材が-4.3%と大幅な続落となっております。



銘柄名[ティッカー]	騰落率
シーバンク（金融）[SSB]	+3.6%
ベトナム投資開発銀行（金融）[BID]	+2.4%
ベトインバンク（金融）[CTG]	+0.8%

銘柄名[ティッカー]	騰落率
HDバンク（金融）[HDB]	▲11.7%
ベトナムゴム工業グループ（素材）[GVR]	▲7.6%
SSI証券（金融）[SSI]	▲6.5%

大型株VN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、中堅民間銀行のシーバンクが+3.6%、大手国営銀行のベトナム投資開発銀行が+2.4%、同業のベトインバンクが+0.8%とそれぞれ反発しております。一方、下落銘柄は、中堅民間銀行のHDバンクが-11.7%、ベトナムゴム工業グループが-7.6%、SSI証券が-6.5%とそれぞれ続落いたしました。

### VN指数直近1年の推移



先週のVN指数は続落となりましたが、昨年のベトナムの実質国内総生産は前年比7.09%増と、年初目標の6～6.5%を上回りました。政府は2025年に取り組む重点項目を発表し、その中で8%を超える経済成長を打ち出しており、その実現に向けた政策対応が期待されます。一方、バリュエーション面では、足元の予想PERが10倍程度と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上